

就業管理システム・入退室管理システム 連携ソリューション

庄司俊一*
小林 茂**
小川康志***

Access Control Data Federation System for Labor Management

Shunichi Shoji, Shigeru Kobayashi, Yasushi Ogawa

要 旨

(株)三菱電機ビジネスシステム(MB)は、就業管理と入退室管理を連携したソリューションを開発した。

“賃金不払いの解消”“過重労働による健康障害防止”を目的とした行政による監督指導に基づき、企業では従業員の適切な労働時間管理が求められている。労働時間を管理する上での重要なポイントとして、“社員ごとの客観的な出退勤時刻の管理”が挙げられる。

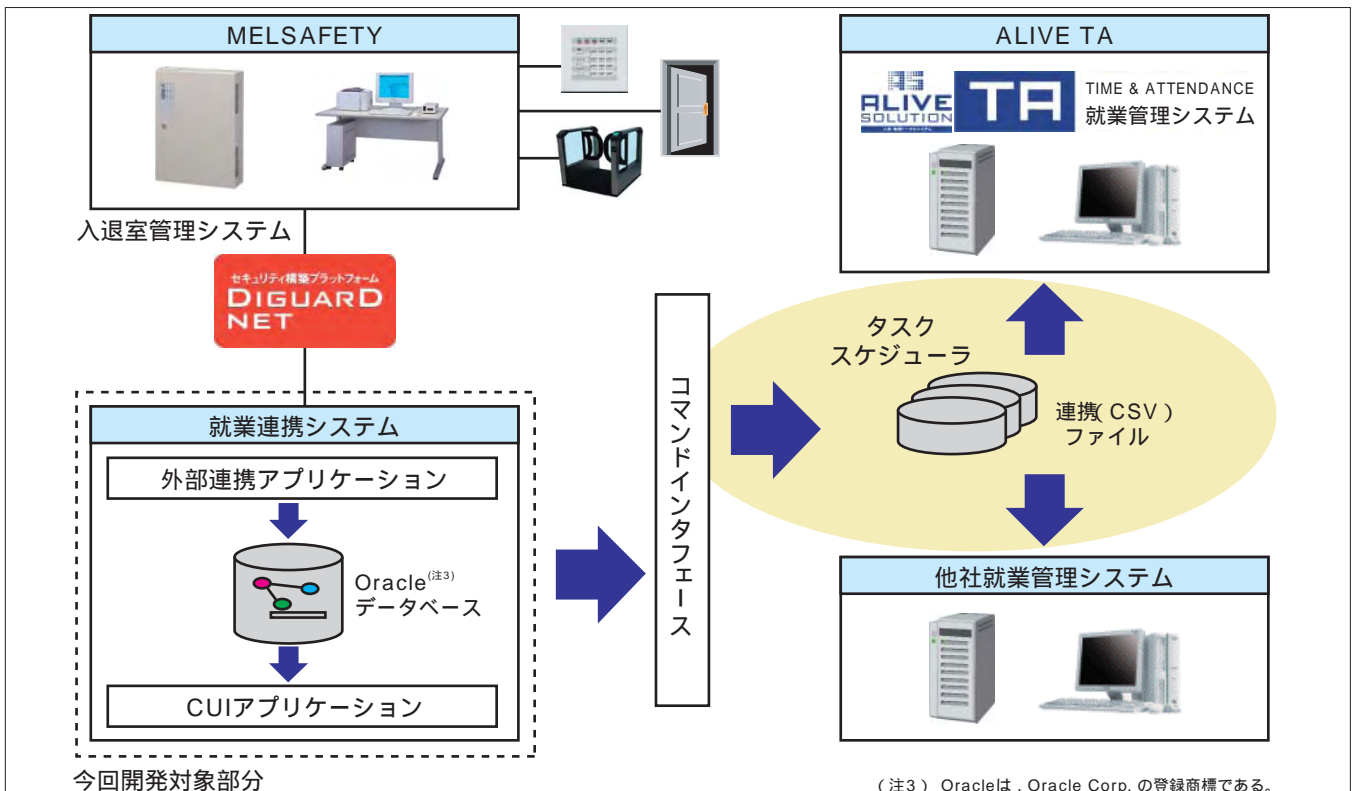
就業管理システムでは一般的に、“タイムレコーダ”と連携し打刻時間を出退勤時刻として管理しているが、入退室管理システムの入館(入室)・退館(退室)時刻を出退勤時刻として就業管理システムに反映させるため、三菱電機標準のセキュリティ構築プラットフォーム“DIGUARD NET(ディガードネット)”^(注1)を利用して、三菱入退室管理システム“MELSAFETY(メルセーフティ)-P/G”^(注2)と就業

管理システム“ALIVE TA(アライブティーエー)”の就業連携システムを開発した。

就業連携システムは、外部連携アプリケーション機能とCUI(Character-based User Interface)アプリケーション機能から構成されており、DIGUARD NETとSOA(Service Oriented Architecture)技術を利用して疎結合なシステム間連携を実現している。簡単なパラメータカスタマイズによって、ALIVE TA以外の就業管理システムへも対応でき、また顧客ごとに異なる様々な運用形態へ対応が可能である。

(注1) DIGUARD NETは、三菱独自の共通プロトコルによってシステム間の通信を実現するセキュリティ構築プラットフォームである。

(注2) MELSAFETY-Pは、小規模セキュリティ向けコンポーネント製品(入退室管理システム)であり、MELSAFETY-Gは、三菱統合ビルセキュリティシステム(入退室管理システム)である。



ALIVE TA・MELSAFETY連携ソリューションのシステム構成

MELSAFETYの通行履歴データを、リアルタイムにデータベースへ保存する。保存された通行履歴データから、差分モード(前回連携以降発生したデータ)又は日時指定モードによって連携CSV(Comma Separated Value)ファイルを出力する。

就業管理システム(ALIVE TA等)は、外部データ取込機能で連携CSVファイルを取り込み、在場時間管理の客観的なデータとして活用する。

連携CSVファイル出力から就業管理システム外部データ取り込みまでの一連の処理は、タスクスケジューラに登録され、任意の間隔で自動実行される。